

# 海産生物放射能影響評価調査 一抄録一

(有用水産生物分布調査)

田村 亘・十三 邦昭・早川 豊

## 発 表 誌 名

平成元年度海洋環境放射能総合評価事業成果報告書－海産生物放射能影響評価調査－（青森県）

## 抄 録

有用水産生物分布調査

### 1. 漁 獲 調 査

#### (1) 標本船調査

調査海域（白糠～三沢沿岸）で営まれている刺網、一本釣、昼イカ釣、小型定置網、大型定置網、旋網、小型底曳網7漁業種類について、白糠、六ヶ所海水、三沢市、県旋網および八戸遠海の各漁協から14経営体を抽出し、操業状況などを調査した。

その結果は、刺網は例年同様ヒラメ、カレイ類、カニなどを対象として水深30m以浅で主に操業していたが、一部ババガレイを対象に水深80mで操業する船もあった。

一本釣は昨年まで行われていたヒラメ曳釣がみられなかったが、1～4月はサクラマス曳釣が、5月以降はメヌケてんてん釣が行われていた。

昼イカ釣は6～12月頃まで、昨年同様水深80～180mで操業していた。

小型定置網はサケを対象に9～1月まで、大型定置網は4～5月はマス類、10月～1月まではサケを対象に営まれた。

旋網はサバが近年不振のため漁獲はなく、マイワシ、カタクチイワシを対象として操業し、マイワシは水深10～160m、カタクチイワシは水深20m以浅で操業していた。

小型底曳網ではマダラ、スケトウダラが主体で、次いでマガレイ、ホッケ、アブラツノザメなどの漁獲が多いが、マダラ、スケトウダラ、ババガレイ、キチジなどは水深200m以深に、ヒラメ、マコガレイ、マガレイなどは水深50～100m海域で多かった。

#### (2) 検 体 調 査

白糠、六ヶ所海水、三沢市漁協からヒラメ他19種をそ購入し、全長、食性、成熟度等を調査した。

イシガレイ……6月全長17.4～29.0cm、平均22.9cm 胃内容物は多毛類、貝類

9月全長20.2～28.8cm、平均24.3cm

マコガレイ……6月全長16.4～43.1cm、平均25.9cm 胃内容物はアミ類、等脚類

9月全長21.3～36.0cm、平均24.1cm

マ ガ レ イ……6月全長18.3～25.7cm、平均21.4cm 胃内容物は多毛類、貝類

ムシガレイ……6月全長20.9～35.0cm、平均25.1cm 胃内容物は頭足類  
ソウハチガレイ……6月全長22.9～28.8cm、平均25.3cm 胃内容物はアミ類  
ヒ ラ メ……9月全長25.4～32.6cm、平均28.2cm  
12月全長32.0～45.5cm、平均39.6cm 胃内容物は魚類  
ウスメバル……6月全長22.3～26.6cm、平均24.3cm  
12月全長20.3～43.6cm、平均28.6cm 胃内容物は魚類  
ク ロ ソ イ……6月全長21.9～32.5cm、平均26.2cm  
キツネメバル……6月全長18.3～34.4cm、平均22.8cm  
ホ ッ ケ……6月全長21.5～34.4cm、平均24.8cm  
ウミタナゴ……6月全長17.5～23.0cm、平均20.2cm  
マ サ バ……6月全長29.8～38.5cm、平均34.6cm 胃内容物はアミ類、魚類  
サクラマス……6月全長32.9～50.2cm、平均45.1cm 胃内容物は魚類  
スケトウダラ……6月全長43.4～60.0cm、平均49.6cm  
ウマズラハギ……6月全長18.3～30.0cm、平均24.2cm  
ヌマガレイ……9月全長19.3～29.9cm、平均23.2cm

## 2. 資源分布調査

民間船（小型底曳網）および試験船（沖合底曳網）によりかけまわし漁法で調査を実施した。  
採集物は6月は魚類31種、その他水産動物11種、10月は魚類38種、その他水産動物21種であった。

調査海域における優先種は魚類では6月、ミギガレイ、スケトウダラ、ホッケ、10月、アイカジカ、ニギス、クサウオ科、その他水産動物では6月、エゾキンチャクガイ、ホタテガイ、10月、ヒメコウイカなどであった。